

空気と水のお医者さん **株式会社平和エアテック**

空気と水のお医者さん

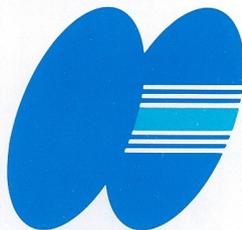
私たちは空気と水を通して、いつも素晴らしい環境を見つめるホームドクターでありたいと思います！



環境活動レポート

(対象期間：2019年1月1日～2019年12月31日)

空気と水のお医者さん



株式会社 **平和エアテック**

発行日 2020年3月10日

代表取締役 相川 守

■計画の策定 (1) 組織の概要

- 事業者名 株式会社平和エアテック
- 代表者氏名 相川 守
- 所在地 本 社: 静岡県熱海市青葉町3-9
工 場: 静岡県熱海市紅葉ガ丘町17-21
沼津本部: 静岡県駿東郡清水町久米田61-18
- 事業内容 空気調和換気設備の設計施工
冷凍冷蔵設備の設計施工
給排水衛生設備の設計施工
汚水処理施設、水道施設の設計施工
浴場濾過装置、プール濾過装置の設計施工
オール電化、太陽光発電設備の設計施工
上記各施設、機器の保守点検整備、修理施工
- 従業員数 19名 (2019年12月31日現在)
- 環境管理責任者 相川 毅
- 連絡先 TEL (0557)82-8231
FAX (0557)82-6441
(e-mail: web@heiwaairtec.com)
- 建設業許可 管工事業
静岡県知事許可(特-28)第1740号
電気工事業・機械器具設置工事業・水道施設工事業
静岡県知事許可(般-28)第1740号

- 事業の規模 ① 設立 昭和40年2月22日
② 事業規模

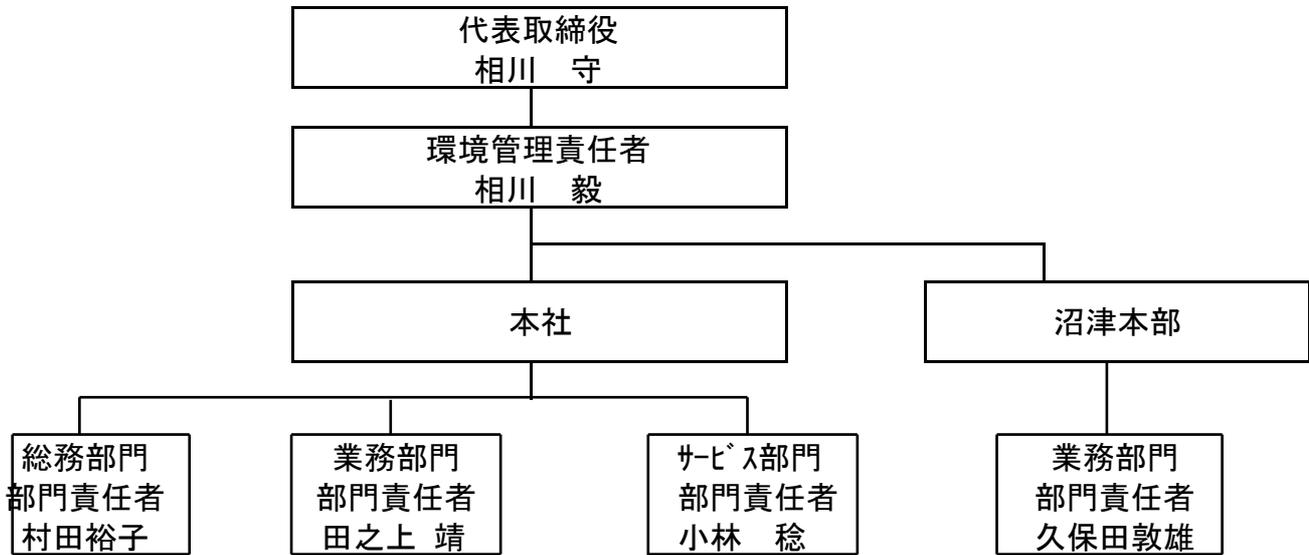
活動規模	単位	2017年	2018年	2019年
売上高	百万円	543	536	553
従業員	人	21	18	19
床面積	本社㎡	263	624	624
	本部㎡	321	321	321

- 事業年度 2月1日～1月31日
- 有資格者 (2019年12月)

建築設備士	1	名
工学会設備士(空調・衛生)	2	名
1級管工事施工監理技士	8	名
2級管工事施工監理技士	5	名
1級冷凍空気調和機器施工技能士	9	名
2級冷凍空気調和機器施工技能士	2	名
建築物環境衛生管理技術者	3	名
第二種冷凍機械製造保安責任者	1	名
第二種電気工事士	5	名
第一種冷媒フロン類取扱技術者	5	名
冷媒フロン回収技術者	9	名
冷凍空調基幹技能者	3	名
消防設備士	2	名
2級建築士	2	名
給水装置工事主任技術者	3	名
下水道排水設備工事責任技術者	3	名

■計画の策定 (2) 対象範囲

- 対象範囲 **全社・全部門**
- レポート対象期間 **2019年1月1日～2019年12月31日**
- 実施体制



担当	役割・責任・権限
代表者 相川 守	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21に関する代表責任者 ・エコアクション21実施における人材、設備、費用を用意する ・環境経営管理責任者の任命を行う ・環境経営方針の制定、改訂及び全社員への周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施する。 ・環境経営マネジメントシステムの承認 ・経営の課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 相川 毅	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営マネジメントシステム全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する ・代表者への報告 ・環境経営マネジメントシステムの承認構築、実施及び運用管理 ・環境事務局の文書作成案に対するチェック及び改訂の指示 ・エコアクション21における文書の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営項目及び環境経営活動計画案の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック ・取組に必要な場合の手順書案 ・事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策の策定 ・環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施 ・環境経営レポートの作成
部門責任者 田之上靖・小林稔 久保田敦雄 村田裕子	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門における環境経営マネジメントの実施 ・各記録の実施 ・問題点のチェック及び予防処置の実施 ・緊急事態の試行及び訓練の実施
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の確認・理解 ・各個人における環境経営マネジメントシステムの実施

■ 計画の策定 (3) 環境経営方針

■ 企業理念

株式会社平和エアテックは、設備工事の事業活動を通じ地球環境を守るための環境に配慮した工事およびメンテナンスを積極的に取り組む企業をめざします

■ 環境方針

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進致します。
 - ① CO2削減の為の省エネ活動に取り組みます。
 - ② 事業所及び現場で発生した廃棄物削減活動と再資源化推進活動に取り組みます。
 - ③ グリーン商品の調達活動に努めます。
 - ④ オゾン層の保護、温暖化防止に向けフロン回収処理を徹底して行います。
またフロン類排出抑制法に則りフロンガスの漏洩の防止活動に努めます。
 - ⑤ 環境に配慮した商品を積極的に提案しユーザーの省エネ化に努めます。
 - ⑥ ITを駆使した働き方改革・時間短縮・効率化を推進します。
2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境目標の達成状況及び活動計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営管理システムを継続的に改善致します。
3. 環境に関する法規制及び協定を遵守致します。
4. 事業の効率化を推進するために、作業・技術の標準化を進めると同時に先端技術の活用と教育システムの充実に取り組みます。
5. 全社員が環境経営方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。

制定年月日 平成23年10月 1日

改訂年月日 令和 1年 1月 1日

株式会社平和エアテック

代表取締役 相川 守

4 中期環境経営目標

電力二酸化炭素換算係数：2019年度東京電力(0.462)

	項目	単位	2011年度	2019年度目標	2020年度目標	2021年度目標
			基準年（実績） 2010.10～11.09	2019.1～ 2020.12	2020.1～ 2020.12	2021.1～ 2021.12
二酸化炭素	事業所及び資材置き場での二酸化炭素削減	Kg-CO2	81,054	-7%	-7%	-7%
	購入電力	KWH	47,752	-7%	-7%	-7%
	ガソリン	L	26,376	-7%	-7%	-7%
	灯油	L	486	0	0	0
	都市ガス	Nm3	121	-7%	-7%	-7%
廃棄物	一般廃棄物の削減	t	2.94	-7%	-7%	5.00
	建設副産物リサイクル率向上	%	100	100	100	100
	水道使用量の削減	m3	168	-3%	-3%	-3%
	事務用品のグリーン購入率向上		現状把握	優先購入	優先購入	優先購入
	フロンガス回収の徹底	%	現状維持	100	100	100
	新規顧客獲得件数 (ニュースレター送付による)	件	-	+10	+10	+20
	フロン漏洩点検顧客獲得件数	件	-	+10	+20	既存客100%

※ 建築資材等のグリーン購入は目標値設定が難しく活動のみとする

※ 環境にやさしい工事についても目標設定が難しく活動のみとする

※ 環境に配慮した商品の提案についても目標設定が難しく活動のみとする

環境経営計画

- 省エネ補助金を利用した、お客様設備に関する省エネ提案の推進(2件)
- 高付加価値商品（省エネ性能・温暖化係数の低いフロンガス使用機器）の販売促進（販売料の30%）
- ICT・IoT等を活用したリモート監視システム導入の促進（2件）
- IT化による社内ペーパーレス化、リモート会議等による移動等の削減を実施（強化）
- 出退勤管理のIT化を用いた、残業の削減と働き方改革の実施（2020年4月から実施）
- 新規車両購入時の安全装置・燃費効率の高い車両の選択（随時）
- 測定機器の積極導入により、故障・メンテナンス時の効率アップ（2020年1月実施予定）

運用期間（2019年1月～2019年12月）の実績と取組結果の評価

電力二酸化炭素換算係数：2019年度東京電力(0.462)

	項目	単位	2011年度 基準年 2010.10～ 2011.09	2019年度 目標値 2019.1～2019.12	2019年度 実績 2019.1～2019.12	評価
二酸化炭素	事業所及び資材置き場での二酸化炭素削減	Kg-CO2	81,054	75,380	68,016	○
	購入電力	KWH	47,752	44,409	29,800	○
	ガソリン	L	26,376	24,529	23,329	○
	灯油	L	486	0	0	○
	都市ガス	Nm3	121	112	57	○
廃棄物	一般廃棄物の削減	t	2.94	2.73	7.93	×
	建設副産物リサイクル率向上	%	100	100	100	○
水道使用量の削減		m3	168	162	168	△
事務用品のグリーン購入率向上			優先購入	優先購入	優先購入	○
フロンガス回収の徹底		%	100	100	100	○
新規顧客獲得件数 (ニュースレター送付による)		件	0	+5	3	△
フロンガス漏洩点検顧客獲得件数		件	19	+5	+6	○

2019年度目標値は基準年 -7%

取組結果の評価

・購入電力は基準年に対する目標は達成も、前年比微増となった。電力に関わる省エネ対策は限界も、台風災害による倉庫・社員寮の改装・本社の建て替えに伴う省エネを図る。

・ガソリンは前年に比べ微増となった。売上げの増加に伴い、移動距離も増えているが、省エネ車の導入等により使用量が微増に収まったと考えられる

・一般廃棄物は、集計方法を再検討した。リサイクル業者への引き渡し量が前回まで加算されていなかったが、それらを付加した。これらも、すでに限界を迎えている→目標見直し必要

・水道使用量は仕事量の増加に伴い基準値になってしまった。削減は踊り場である。

・グリーン購入の向上に関しては、優先購入をおこなっている。但し数値の算出はしていない。

・フロンガスの回収に関しては、今後も法令遵守を徹底していく。「第一種冷媒フロン類取扱技術者」の資格取得(5名)を行っている。同時に、同資格取得講習会の講師を勤めている。

・ニュースレターによる会社のアピールを続けていく。省エネもニュースレターを通して既存客にも提案していきたい。

・フロン漏洩点検顧客獲得は目標に達したが、まだまだ物件は残っている。既存客に対しては、100%実施を今後の目標とする。

・次年度目標 一般廃棄物については見直し(2019年度を基準に-5%(7.53t)とする)を行い、その他の項目については、継続とする。

中期環境経営活動計画

目的	区分	項目	担当	活動項目	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素の削減	購入電力	購入電力	村田及川	①消灯の徹底	○	○	○	○	○
				②点灯タイマー時間の管理	-	-	-	○	○
		空調	小林川口	①温度設定 夏28° 冬21°	○	○	○	○	○
				②クールビズ、ウォームビズ(空調服導入)	○	○	○	○	○
				③フィルター定期清掃	○	○	○	○	○
				④使用していないエリアの空調停止	○	○	○	○	○
				⑤エコシルフィー使用による省エネ	-	○	○	○	○
		O A	村田及川	①不必要時のパソコン電源切り	○	○	○	○	○
				②スイッチオフによる待機電力の削減	○	○	○	○	○
		その他	村田	③複合機の駆動時間の削減	-	-	-	○	○
				①充電式電池の使用	○	○	○	○	○
	ガソリン灯油	作業車	久保田	①エコドライブ	○	○	○	○	○
				②エコ整備	○	○	○	○	○
				③日常・定期点検の実施	○	○	○	○	○
				④省エネ車の導入	○	○	○	-	-
				⑤アイドリングストップ	○	○	○	○	○
		暖房	村田	①暖房設定温度の21℃	○	○	○	○	○
				②サーキュレーター使用による効率化	○	○	○	○	○
公共工事 50百万円	削減計画 立案	適宜	①施工計画に削減計画反映と活動展開	○	○	○	○	○	
廃棄物のリサイクル	事務所	日吉久保田	①コピー用紙の両面使用	○	○	○	○	○	
			②封筒・ファイルの再利用	○	○	○	○	○	
			③FAXのPDF化	-	-	-	-	-	
			④廃棄物の分別とリサイクル	○	○	○	○	○	
			⑤3Rの実践	○	○	○	○	○	
			⑥エコキャップ運動の参加	○	○	中止	-	-	
			⑦プリンターの両面印刷化	○	○	△	△	△	
			⑧使い捨て製品の購入を抑制	○	○	△	△	△	
			⑨廃棄物の置き場を設置(直置き禁止)	○	○	○	○	○	
	建設副産物のリサイクル	中嶋	①廃棄物の分別化	○	○	○	○	○	
②分別ルート新規開拓			○	○	○	○	○		
③仮設資材、用具のリユース化			○	○	○	○	○		
節水	上水	平野小林	①節水表示	○	○	○	○	○	
			②ストップガンの取り付け	○	○	○	○	○	
			③節水こまの取り付け	○	○	○	○	○	
			④節水商品の購入	-	-	-	-	-	
			⑤漏水点検を定期的の実施	○	○	○	○	○	
グリーン購入	事務用品	村田	①環境フレンド対応品の購入	○	○	○	○	○	
			②何回も使える物購入	○	○	○	○	○	
設備資材	村田	③針なしホッチキスの採用	○	○	○	○	○		
		①グリーン購入対象品優先購入	○	○	○	○	○		
フロン回収再生	小林	①フロン排出抑制法に則り徹底回収	○	○	○	○	○		
		②フロン漏洩点検の告知及び実施	○	○	○	○	○		
		③フロン類回収行程管理票による処理	○	○	○	○	○		
		④フロン類の回収後再生の推進	○	○	○	○	○		
		⑤高効率空調機の設計提案	○	○	○	○	○		
環境配慮された機器の提供	適宜	②高効率換気装置の設計提案	○	○	○	○	○		
		③高効率給湯器の設計提案	○	○	○	○	○		
		④節水型衛生器具の設計提案	○	○	○	○	○		
		⑤上記達成の為に省エネセミナー開催	○	×	×	中止	-		
		⑥フロン漏洩点検実施の提案	○	△	○	○	○		

環境経営計画

- 省エネ補助金を利用した、お客様設備に関する省エネ提案の推進(2件)
- ICT・IoT等を活用したリモート監視システム導入の促進(2件)
- IT化による社内ペーパーレス化、リモート会議等による移動等の削減を実施(強化)
- 出退勤管理のIT化を用いた、残業の削減と働き方改革の実施(2020年4月から実施)
- 新規車両購入時の安全装置・燃費効率の高い車両の選択(随時)
- 測定機器の積極導入により、故障・メンテナンス時の効率アップ(2020年1月実施予定)

計画の評価と今後の取組

目的	項目	活動項目	評価		今後の取組
			評価	内容	内容
二酸化炭素の削減	照明	①消灯の徹底	○	徹底されている	継続
		②点灯タイマー時間の管理	○	徹底されている	継続
	空調	①温度設定 夏28° 冬21°	○	徹底されている	継続
		②カービズ、ウォームビズ	○	各自工夫している	継続
		③フィルター定期清掃	○	徹底されている	継続
		④使用していないエリアの空調停止	○	徹底されている	継続
		⑤エコシルフィー使用による省エネ	○	実施している	継続
	O A	①不必要時のパソコン電源切り	○	徹底されている	継続
		②スイッチオフによる待機電力の削減	○	タイマー取付により実施	継続
		③複合機の駆動時間の削減	○	待機電力移行時間を早く	継続
	その他	①充電式電池の使用	○	徹底されている	範囲拡大
	作業車	①エコドライブ	○	ドライブレコーダー導入後良好	継続
		②エコ整備	△	一部出来ていなかった	再教育する
		③日常・定期点検の実施	△	一部出来ていなかった	再教育する
		④省エネ車の導入	○	入替車両に対応	今後も入替時に検討
		⑤アイドリングストップ	○	徹底されている	継続
	暖房	①暖房設定温度の21℃	○	徹底されている	継続
		②サーキュレーター使用による効率化	○	仮設運転中	継続
公共工事 50百万円	①施工計画に削減計画反映と活動展開	-	物件無し		
廃棄物のリサイクル	事務所排出物	①コピー用紙の両面使用	△	一部中止した	範囲を縮小
		②封筒・ファイルの再利用	○	徹底されている	継続
		③FAXのPDF化	-	中止	
		④廃棄物の分別とリサイクル	○	しっかりと分別されている	継続
		⑤3Rの実践	○	再利用等出来ている	継続
		⑥エコキャップ運動の参加	-	中止	
		⑦プリンターの両面印刷化	○	徹底されている	継続
		⑧使い捨て製品の購入を抑制	△	一部で出来ていない	継続
		⑨廃棄物の置き場を設置(直置き禁止)	×	置き場は確保、直置き	置き場の再検討
	イクル 建設副産	①廃棄物の分別化	△	一部実施 金属類	継続
②分別ルート新規開拓		×	開拓できなかった	継続して開拓	
③仮設資材、用具のリース化		○	徹底されている	継続	
節水	上水	①節水表示	○	徹底されている	継続
		②ストップガンの取り付け	○	取付完了	継続
		③節水こまの取り付け	△	一部で採用	継続実施
		④節水商品の購入	×	実施できなかった	今後対応予定
		⑤漏水点検を定期的に実施	○	漏水無しを確認	継続
グリーン購入	事務用品	①環境ラベル対応品の購入	○	徹底されている	継続
		②何回も使える物購入	△	品目を管理、実施されている	継続
グリーン購入	資材備蓄	③芯なしホッチキスの採用	○	徹底されている	継続
		④グリーン購入対象品優先購入	○	徹底されている	継続
回収	フロン回収	①フロン回収破壊法に則り徹底回収	○	徹底されている	法令遵守
		②フロン漏洩検査の範囲を拡大	△	漏洩検査資格は現状維持	増加に努力する
		③フロン類回収行程管理票による処理	○	徹底されている	法令遵守
環境配慮された機器の提供		①高効率空調機の設計提案	○	数件提案済み	提案数を増やす
		②高効率換気装置の設計提案	×	今期提案なし	提案数を増やす
		③高効率給湯器の設計提案	○	今期提案済み	提案数を増やす
		④節水型衛生器具の設計提案	×	今期提案なし	提案数を増やす
		⑤フロン漏洩点検の提案	○	数件提案	既存客100%を目指す

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1.環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 静岡県産業廃棄物適正な処理に関する条例	廃棄物排出事業所との委託契約	契約(書)の締結	2019.1.15
	マニフェストの管理	D票、E票の返却	2019.12.25
	マニフェストの期間内返却	90日以内又は180日以内	2019.12.25
	マニフェストの保管	5年間	2019.12.25
	投棄禁止	不法投棄を行わない	2019.12.25
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	2019.12.25
	保管場所への掲示	60cm×60cm以上掲示	2019.12.25
	マニフェストの年間集計と知事への報告	6月30日までに提出	2019.12.25
	産業廃棄物管理責任者の選任	相川 毅	2019.1.6
	処分場の実地確認(年一回以上)	セキトランスシステム	2019. 11.13
建築リサイクル法	建設副産物のリサイクル	工事計画書・実績報告	2019.12.25
騒音・振動規則法	特定作業規制	指定地域・時間帯規制	2019.12.28
	特定作業規制	指定地域・時間帯規制	2019.12.28
	地域住民との取り交わし		
家電リサイクル法	指定家電の収集	エアコン・冷蔵庫 他	2019.12.28
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	2019.12.28
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	2019.12.28
	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の	2019.12.28
グリーン購入法	環境物品の購入及び工事材料提案	事業者の一般的責務/工事計画書	2019.12.28
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	2019.12.28
フロン排出抑制法	関係書類の発行、管理		2019.12.28
	定期点検・回収・充填量の記録、報告	3月31日までに県に報告	2019.12.28
高圧ガス保安法	高圧ガス販売許可	高圧ガス容器の点検	2019.5.31
熱海市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別搬出		2019.12.28
清水町一般廃棄物に関する条例	一般廃棄物の分別搬出		2019.12.28
消防法	消防設備設置届の提出		2019.12.28
水道法	給水装置資格者の申請、検査立会		2019.12.28
浄化槽法	保守点検、清掃定期検査	大家による管理	2019.12.19
下水道法	配水設備資格者の申請、検査立会		2019.12.28

2.違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

環境上の緊急対策

訓練実施日 2019年11月28日

項目	想定される緊急事態	対応	訓練	結果
火災	・ 酸素、窒素、アセチレン、フロンボンベなど可燃性ガス漏洩による火災	・ 初期消火の実施 ・ 消防署に連絡 ・ 避難の勧告	・ 消火器の設置管理 ・ 消火器の有効期限確認 ・ ボンベ等転倒防止の確認 ・ ホース、バルブの漏洩検査 本社(8)・本部(4)、参加者12名	OK OK OK OK
酸欠	・ フロンガス漏洩による酸欠状態	・ 換気作業 ・ 酸素濃度測定 ・ 消防署に連絡	・ 換気装置の作動確認 ・ フロンボンベの使用期限確認 ・ フロンボンベの漏洩検査 ・ 室温40℃以下での保管 本社(9)・本部(4)、参加者13名	OK OK OK OK
上水漏れ	・ 配管破裂 ・ 水栓不良	・ 止水栓を閉鎖 ・ 水道課に連絡 ・ 利用水の確保	・ 配管の目視点検 ・ 水栓全閉鎖の後量水器確認 ・ パッキン類の不良確認 本社(8)・本部(4)、参加者12名	OK OK OK



期限内 OK

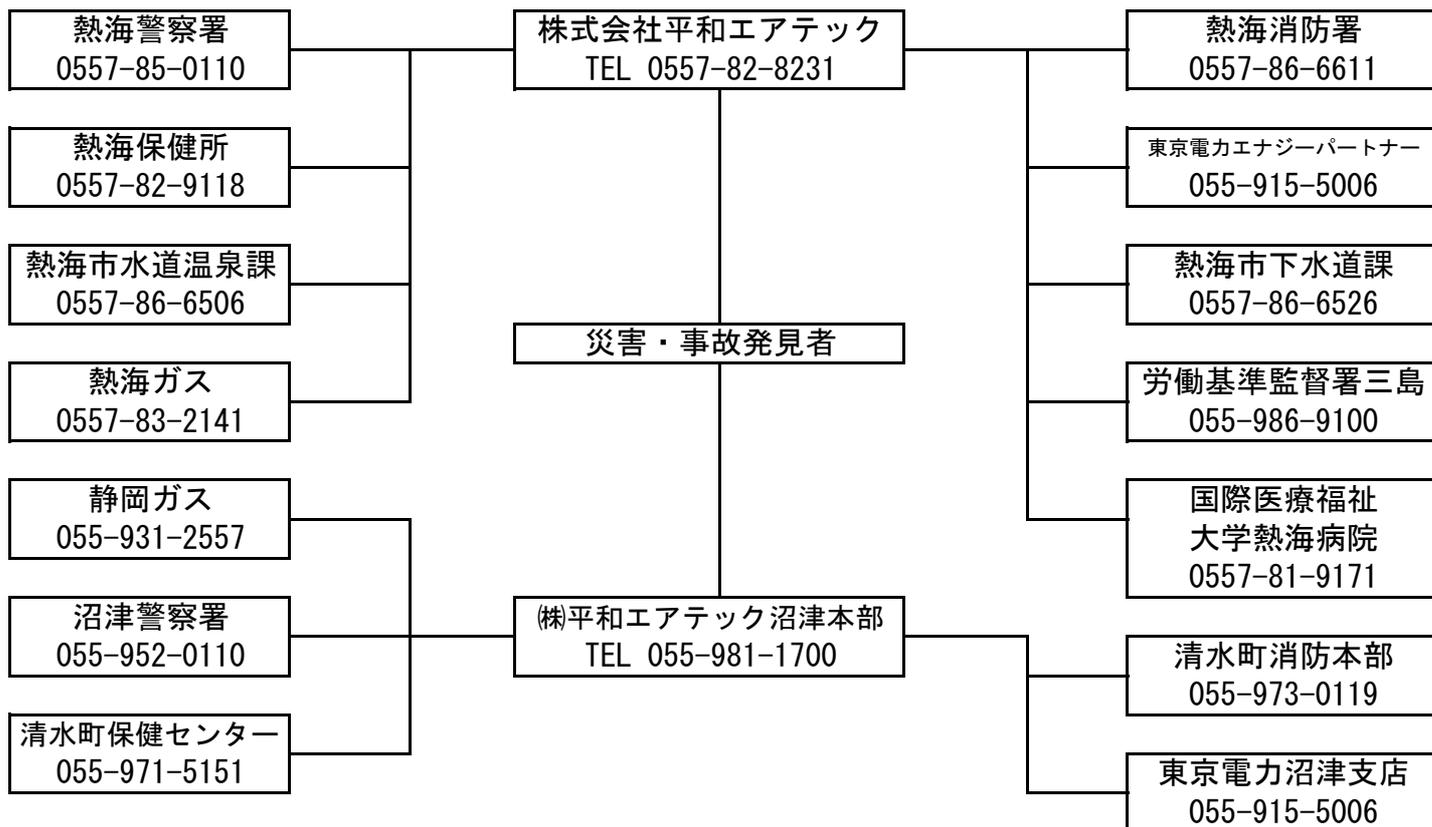


フロンボンベの使用期限確認
全て期限内 OK



量水器確認（漏水点検）
漏水無し

緊急連絡網



代表者による全体の評価と見直し・指示

全体の評価

システムの有効性については、実際の活動に即し非常に役に立っている。それらで指示されていた目標についてはほとんどの項目について達成することができました。また、法令については、継続して遵守されている。

しかしながら、削減率は踊り場であり、新たなアイデア・取り組みが必要で、倉庫内整理等による時間短縮等は進んでいるも、その他については、計画はあるものの実施にたどり着いていません。

当社は創業半世紀を超え、さらなる地域貢献・環境貢献のため、新たに環境・省エネ事業を事業柱の一つとしてお客様への省エネ・節電・温暖化ガス削減提案活動をより積極的に取り組んで行くとともに、ひとつづくりに邁進していきます。

代表者の指示内容

方針・目標・実施体制は継続とする
活動項目については以下の点を見直しとする

見直し指示

各削減項目も限界に近づいており、2017年度版のガイドラインにもあるように環境経営を掲げ、省エネだけにとらわれない、省力化の新たな目標をしっかりと定めていきたい。また、今まで通り環境に配慮しながら地球温暖化ガスの排出削減もしっかりと推進していく。倉庫については整理されつつあるので、この流れを切らずに在庫管理、効率化、無駄をなくすことを念頭に常に整理されている倉庫を実現したい。

フロン類排出抑制法による定期検査は当社にとって重要な分野であるため、より地域に根付かせるため、積極的なアピールを行っていく。また、引き続き地球温暖化係数の高いフロンガスを漏えいさせぬ様、機器施工のさらなる工夫や確実なフロンガスの回収・再生を行い環境破壊防止に少しでも役立ちたいと考えています。

評価日 2020年1月10日

株式会社平和エアテック
代表取締役 相川 守

2019(2019.1～2019.12)年度教育記録

No.	年月日	主催・会場	教育名	講師	教育内容	対象者(参加者)	備考
1	2019/2/1	本社・本部 (TV会議)	新年度の目標	社長	1. 2019年の目標・方針発表	全員	プロジェクター・資料
2	2019/6/4	本社	前年度反省	専務(環境管理責任者)	1. 2018年度の結果発表、反省	全員	プロジェクター・資料
3	2019/11/28	本社	上水漏・火災・酸欠訓練	専務(環境管理責任者)	1.漏水検査(メーター確認) 2.止水栓閉鎖、連絡先の確認 3.消火器の期限確認 連絡先の確認	本社	特に問題無し
5	2019/12/11	本社・本部 (TV会議)	エコ運転	専務(安全運転管理者)	1.ドライブレコーダー記録を見てエコ運転の実施状況を確認	本社	プロジェクター・PC
6	2019/12/20	本社	フロン漏洩防止	社長	1.フロン回収機取扱確認	全員	工場・実戦訓練
7							
8							
9							
10							